

型を使ってサクラ咲かせよう



①「紋切り遊び」に必要な道具と材料。ハサミ、ノリ、折り紙、紋切り型②折り紙を半分に折る③山折り側に「紋切り型」を貼る。あとではがすので、軽く留める程度に④型に沿って切る⑤切り終えたら型をはがし、折り紙を開いて完成



■ギャラリーで展示 東京都港区立郷土歴史館(港区白金台)4階のギャラリーでは、下中さんらの作品を4月18日まで展示している。1〜4日は「桜の紋切り」体験もできる。いずれも無料。問い合わせは同館(03・6450・2107)へ。

紙
WAZA

第4土曜掲載

● お問い合わせ:

(株)エクスプランテ

〒146-0073

東京都大田区北嶺町27-19

FAX:050-3737-4379

TEL:03-3720-1620

<https://www.xpl.jp/>

ありきたりなことを意味する「紋切り型」はよく耳にしても、実物を見たことがない人は多いだろう。紋切り型は、紙を切り抜いて文様を作るときに使う型紙だ。誰でも美しい文様を作ることができる、江戸時代には人々が「紋切り遊び」に親しんだという。その楽しさを現代の人々に広めているのが、東京都大田区の造形作家、下中菜穂さん(61)だ。「紋切り遊び」に出会って約20年。切り抜いた紙を広げる瞬間のワクワク感は衰えありません」

(紙WAZA編集長 木田滋夫)

■1冊の本
イラストレーターなどの仕事をしてきた下中さんは、図書館で面白そうなお本を見つけた。「世界遊戯法大全」(本邦書籍)。明治時代の本の復刻版で、カルタやトランプなどのルールが紹介されている。読み進むと「紋切り遊び」とあり、型も載っている。「何がで



きるんだろ」

さっそく借り、試しにカタバミの葉をモチーフにした伝統文様「つるのかたばみ」を作ってみた。紙を折り畳み、型を当ててハサミで切る。切り抜いた紙を広げると、ハート形の葉が3枚、円形に並んだ美しい紋が現れた。「へえー」。昔の人もこうやって紋を作り、同じように感嘆していたのだろうか……。タイムカプセルを開けたような気持ちになった。

「桔梗」「花菱」「初雪」

色々々

紋
切
り
型
の
美



下中菜穂さん

紋を切り抜くうち、すっかり魅了されてしまった。紋の美しさはもちろんだが、先人が草花や鳥、雪や星を紋に昇華させる創造性と観察眼を持っていたことに伝統文様は森羅万象をモチーフにしているのに、魚が見当たらない不思議さ。気づけば古書店で文庫を買集めるほど熱中していた。

■未来につなぐ
江戸東京博物館(東京都墨田区)によると、江戸時代に刷られた子供用の版画に紋切りを題材にしたものがあることや、紋切りの見本

「いちど作ると、ほかの紋も作ってみたくなるはず。この楽しさを知った人は、私と一緒に紋切り遊びを未来に伝える仲間です」

作品はそのまま飾っても美しいが、カードに貼って送るのも楽しい。うちわやコースターに貼れば手作りの和雑貨になる。布で作ってバッグに縫い付けば世界に一つのバッグになる。

「型を貼る、はがす、型を貼る、はがす。最後に折り紙を開けば完成だ。型や紙の折り方は、本やネットで紹介されている。作品はそのまま飾っても美しいが、カードに貼って送るのも楽しい。うちわやコースターに貼れば手作りの和雑貨になる。布で作ってバッグに縫い付けば世界に一つのバッグになる。」

須藤菜々子撮影

帳のような書物が刊行されていたことから当時、紋切り遊びが親しまれていた可能性が高いという。明治以降の紋切り遊びの足跡は、下中さんの史料からたどることができる。大正時代の教本は赤や黄色の原色が使われ、伸び伸びとした時代を感じさせたが、やがて紋の題材に「軍帽」や「勲章」が現れて軍国色が強まり、戦争が始まると本の紙質は粗末に。戦後は娯楽が多様化し、いつしか紋切り遊びは忘れ去られてしまった。連綿と続いてきた文化が消えるのは惜しい。使命感のような気持ちで本を出したり、体験会を開いたり、と、伝承に情熱を注いだ。「景観や自然をそのまま残すのは大変なことですが、手の中で完結する紋切り遊びなら、私も未来に残せると思っています」

■多彩な楽しみ方
紋切り遊びに必要なものは、ハサミとノリ、折り紙、そして紋切り型だ。手順はまず、作りたい紋に応じて折り紙を「二ツ折り」から「五ツ折り」に、型をノリで軽く貼る。クリップで留めてもいい。型に沿って折り紙を切り、切り終えたら型をはがす。最後に折り紙を開けば完成だ。型や紙の折り方は、本やネットで紹介されている。